



新年のご挨拶



群馬県中小企業団体中央会

会長 金子正元

皆様にはご健勝にて平成25年の新春をお迎えることと心よりお慶び申し上げます。

我が国は、東日本大震災からの復旧・復興の加速化が最優先課題となつている中で、全国多くの中小企業組合が被災地への支援を継続し、組合の力による地域の再生に懸命の努力を行っています。

他方、長引くデフレ、超円高、高コストな電力、社会保障と税負担増等の将来不安による投資意欲や消費の減退等により、経済は縮小の一途をたどり、中小企業の存立基盤を大きく揺るがす極めて厳しい状況が続いています。さらに、領土問題に端を発する反日デモにより、対中国向け輸出額は減少し、自動車関連のみならず、多くの業種で先行き不透明感が強まっております。このような中、昨年末に実施された衆議院議員選挙において、新しい政権の枠組みが国民によって選択され、

多事多難ではありますが、種々の問題や課題の解決への期待を抱きながらの越年となりました。

我々中小企業は、幾多の試練を乗り越えてきました。生産方式の改善による品質の向上とコストの削減、新製品・商品の開発、販路開拓等の自助努力を行ってきました。加えて、事業協同組合をはじめとする中小企業組合は、「相互扶助の精神」に基づき、中小企業の自助努力を助長するとともに、共同事業による経営の合理化等を推進し、環境問題や社会貢献等の社会的要請にも対応してきました。

中小企業政策においては、平成22年に中小企業を「経済を牽引する力であり、社会の主役である」と位置付ける中小企業憲章が、平成23年には群馬県においても中小企業の理念を明記した「群馬県中小企業憲章」が制定されました。また、中小企業政策審議会「ちい



さな企業” 未来部会においても、中小・小規模企業政策の具体的な制度改革を目指して審議が行われてきました。

中小企業が直面している構造変化に円滑かつ効果的に対応し、地域産業が活力を取り戻せるよう、中小企業政策における組合組織の位置付けを強化する必要があると思っております。

本会は、中小企業組合をはじめとする連携組織の専門支援機関としての役割をしっかりと自覚して、中小企業が直面する課題の解決と現下の厳しい状況の克服に向け、会員並びに組合を構成する県下中小企業の期待に応えるべく、総力を挙げて支援を添加していく所存であります。

本年が、これからの中小企業経営の光明を見出す年となることを心より祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

新年のご挨拶

群馬県知事

大澤 正明



明けましておめでとございます。

群馬県中小企業団体中央会の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

東日本大震災から1年10カ月が経つとする中、被災地ではさまざまな困難に立ち向かい、復興への歩みが進められています。県としても、被災された皆様への支援に、引き続き努めてまいります。

昨年は、「富岡製糸場と絹産業遺産群」が、ユネスコに推薦する世界遺産候補に決定し、26年度の世界遺産登録に向け、大きな一歩を踏み出しました。また、ロンドン五輪やパリリンピックで本県出身選手が活躍し、私たちに勇気と感動を与えて

くれました。

円高や震災などが影響し、低迷が続いていた県内経済は、持ち直しの動きも見られるようになりましたが、最近の海外経済の情勢による影響が懸念されています。

昨年夏の「ググつとぐんま観光キャンペーン」では、期間中、県内外から多くの観光客が訪れました。企業誘致も、北関東自動車道の全線開通や自然災害への強さなどから順調に進み、昨年の企業立地状況は全国トップクラスでありました。県内景気の回復が本格的なものとなるよう、特に地域の産業や雇用を支える中小企業の活性化を図られるよう、平成23年6月に全国の自治体で初めて制定した「群馬県中小企業憲章」の理念に基づき、関連施策の推進に全力で取り組んでまいります。

昨年3月には、成長が著しい東アジアの活力を県内経済に取り込むため、「群馬県国際戦略」を策定しました。観光誘客や農畜産物の販路拡大などに向けて、さまざまな取り組みが進められ、新たな交流も生まれつつあります。また、今年4月

には、中国有数の経済・情報都市である上海市に、群馬の総合的な発信拠点となる県事務所を開設するなど、引き続き戦略的な国際施策を推進していきます。

さらに、特別支援学校の未設置地域の解消、救急医療や高度医療の充実、交通安全対策の強化など、県民の安全・安心の確保に一層取り組むとともに、群馬の誇る自然、歴史文化、産業など、先人から受け継いだ「群馬の限らない可能性」を生かし、「魅力あふれる群馬」を全国に発信していきます。

これからも、県総合計画「はばたけ群馬プラン」を着実に推進し、「対話と協調・現場主義」を貫き、群馬がさらに大きくはばたくよう、関係団体の皆様と手を携えながら県政を進めてまいります。

本年が中央会並びに中小企業組合の皆様にとつて大きな飛躍の年となるよう心から祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。

年頭に当たって

全国中小企業団体中央会
会長 鶴田 欣也



明けましておめでとございます。

震災からの復興や成長分野への産業構造の転換が喫緊の課題となる中、我が国は昨年もデフレからの脱却を果たすことができず、日本経済は大き

な岐路に立っています。今年こそ、国の礎である中小企業が報われ、希望の光が燦々と差し込む年としたいものです。

顧みますと、全国中央会の会長に就任して4度目のお正月を迎えることとなりました。最も力を注いできたことは、大きく2つあります。1つは、①中央会の存在価値をアピールすること、もう1つは、②中央会・組合間の情報の共有化を図り、中央会の職員一人一人が生き生きと働けるようにすることです。中央会トップセミナー、中央会事務局長会議の開催、参加型の中央会指導員研修な

ど中央会間の情報の共有化を図るため、各層ごとに幾重にも直接語らう場を設けましたが、今後とも、関係各位の積極的な参画をお願いいたします。全国中央会としても、それをしっかりと受けとめていきます。

「組合絆ルネサンス」の結実に向けて

衆議院解散による予算編成の遅れ等による景気減速、中小企業金融円滑化法の期限到来による資金繰りや消費税の引上げに対する不安、エネルギーの安定供給への危惧など先行きが見えない状況を何としても打開していく必要があります。



新政権には、一日も早く中小企業が再び元気を
出して頑張れるような政策展開を何よりも期待す
るものです。そして、全国の中小企業がどの地域
においても組合等連携対策をはじめとする政策支
援が受けられるようきめ細かな支援体制が採られ
ることが必要不可欠です。

このような状況下、政府では、小規模企業施策
や支援体制を抜本的に強化し、海外展開の更なる

年頭挨拶



商工中金前橋支店
支店長 中島 潔

新年明けましておめでとございます。旧年中
は商工中金業務に対しまして格別のご高配を賜り、
まことにありがとうございます。厚く御礼申し
上げます。

昨年の経済を振り返りますと、わが国の景気は
東日本大震災からの復興や、タイの洪水からの挽
回生産、エコカー補助金の復活などにより、春頃
まで持ち直しの動きを見せました。しかしながら、
その後は欧州や中国経済の減速、長引く円高など
による輸出の減少に加えて、エコカー補助金の終
了といった政策による押し上げ効果の剥落といっ
た要因等により、国内景気は厳しい状況にあり、
先行きの不透明感も強くなっています。中小企業
の景況については、当金庫の「中小企業月次景況
観測」で見ますと、景況判断指数は平成24年3月
に48・7と東日本大震災以前の水準近くまで回復

支援、下請取引の適正化、事業承継・技能承継、
若手・女性層の創業等を推進することとしていま
す。このことは、中小企業組合等中小企業団体が
果たすべき役割を高めるものと考えています。

東日本大震災は、中小企業間での復興連携、今
後に備えての防災連携など地域市民を巻き込んだ
新たな関係性による産業再構築の契機となったの
ではないでしょうか。中央会として、絆と共感の
するなど、一時は持ち直しの兆しが見えましたが、
その後は一進一退を続けながらも緩やかに低下し
ています。

このような環境のもと、商工中金は、東日本大
震災からの復旧・復興に取り組み中小企業の皆さ
まや、円高等の影響により当面の資金繰りに不安
を抱える中小企業の皆さまに対し、危機対応業務
を中心に、組織をあげてセーフティネット機能の
発揮に取り組みました。平成23年5月より取扱い
を開始した東日本大震災復興特別貸付については、
全国で（平成24年10月末時点）、3万4000件、
1兆9000億円を超え、これらを合わせた危機
対応業務全体の累計実績は制度開始以降、11万9
000件、7兆4000億円を超える規模となり
ました。こうした、中小企業の皆さまの資金繰り
や経営の安定化へのサポートを通じて、県内の雇
用維持・経済の安定に若干でも貢献できたのでは
ないかと思えます。また、中小企業の皆さまの企
業価値向上に向けては、成長戦略総合支援プログ
ラムを活用するなど、全力でサポートしてまいり
ました。同プログラムは、昨年10月に上方修正し
た「3年間で5000億円の成長マネー供給」と
いう目標に対し、全国で、累計実績で7000件、

中に、そのための仕組み、風土をつくり、日本の
未来の可能性を作り出していきたいものです。

この歴史的転換と言え、中小企業組合等中小
企業団体の皆様におかれましては、中小企業の発展
のため共に力強く前へと邁進いただきますようお願い
いたしますとともに、本年が皆様にとって、忘れ
られない素晴らしい年となりますよう心からご祈念
申し上げます。年頭に当たつてのご挨拶いたします。

4000億円を超えるなど着実に成果を上げるこ
とができました。

本年も先行き不透明な金融・経済環境が続くこ
とが予想されますが、商工中金としましては、引
き続き皆さまからのご相談に対して、懇切、丁寧
かつ迅速な対応に努め、危機対応業務を中心に
セーフティネット機能の発揮に全力を挙げて取り
組んでまいります。また、お取引先の皆さまが抱
える経営課題に対してはその解決に向け、質の高
いソリューションを提供するなど、皆さまと一緒
にこの難しい局面を克服し、ともに成長してまい
りたいと思えます。

「中小企業の、中小企業による、中小企業のため
の金融機関」として、これまで以上に皆さまか
ら信頼され、お役に立てるよう、役職員一同、全
力で努力を続けてまいりますので、今後とも格別
のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し
上げます。年頭にあたり、貴会ならびに会員企
業皆さまのご繁栄とご健勝をお祈りいたしまして
ご挨拶いたします。